

令和 7 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

1 2 月 2 日~~（7 人）~~（6 人）

1 曾我 好則・2 河村 孝・3 山田 耕治・4 梅本 洋平
~~5 上野 忠彦~~・6 石田 卓成・7 宮元 照美

1 2 月 3 日（6 人）

8 村木 正弘・9 生野 美輪・10 藤本 真未・11 森重 豊
12 重田 直輝・13 松村 学

1 2 月 4 日~~（6 人）~~（7 人）

14 原田 典子・15 三原 昭治・16 宇多村 史朗・17 和田 敏明
18 田中 健次・19 藤村 こずえ・20 上野 忠彦

No.	1	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	令和8年度当初予算編成について	第5次総合計画の5年間でまちづくりが着実に進んできた。 これからの5年間に向け、総合計画初年度となる令和8年度の当初予算は大変重要である。 物価高対策をはじめとする総合経済対策の策定が進められるなど、国の動向が不透明な中、当初予算の編成にどのように取り組まれるのか伺う。

No.	2	河村 孝	
質 問 事 項			要 旨
1 少子化対策と子育て支援について			令和6年度の母子健康手帳の交付件数が、664件と初めて700件を割った。2030年代に入ると、日本の若年人口は現在の倍速で急減し、少子化は歯止めがきかない状態になり、2030年代に入るまでが、少子化傾向を反転できるラストチャンスと言われている。この出生率低下の歯止めをかけるため、少子化対策として、若い世代や子育て世代の支援の充実、さらに、きめ細かな子育て支援策を充実させる必要があると考える。本市のご所見をお伺いする。
2 観光施策について			第6次防府市総合計画（案）では、観光客数年間300万人の実現が目標とされている。また、「第4次防府市観光振興基本計画（案）概要」では、瑞風効果を一過性にせず、「歴史のまち防府」が持つ「本物の魅力」を発信し、観光客を呼び込むこととされている。この観光客誘致に関する以下の2点について、ご所見をお伺いする。 (1) 「本物の魅力」の発信について (2) 英雲荘の飲食体験など歴史的資源の活用について
3 ICT教育について			児童・生徒へのタブレット端末が支給されて、約5年が経過した。ロイロノートを活用したICT教育も本格的に実施され、「個別最適な学び」や情報共有やディスカッションを通じた「協働的な学び」が推進されてきた。来年度、新たな端末が支給されるにあたり、生成AIへの対応など、今後どのようにICT教育を次のステージへ推進していくのかご所見を伺う。

No.	3	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	交通安全思想とルール遵守の促進について	(1) 市内の交通安全教育の現状について伺う。 (2) 交通ルールの遵守を促進するために、市としてどのような啓発活動を行っているのか？ (3) 高齢者や子どもなど、弱者を対象とした交通安全対策について、現在どのような取り組みが行われているのか？ (4) 市内で交通事故が起こりそうな場所についての把握と対策は？ (5) 交通安全を推進するための今後の計画や新たな取り組みについては？
2	市の情報セキュリティについて	(1) 本市へのサイバー攻撃などへのセキュリティ対策状況について教えてください。また、職員の研修や教育を行っているのか？内容も含めて教えてください。 (2) 情報インシデント発生時の対応体制については？ (3) 市民向けの対策として、どのような広報・啓発活動を行っているか？ また、もし被害に遭われた場合の窓口は？ (4) 今後、サイバー対策強化に向けた方針は？

No.	4	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	使用料・手数料の見直しについて	物価の上昇等により、使用料・手数料の条例改正案が提出された。 改正の内容や利用者への影響、今後の見通しについてどのようにお考えか伺う。
2	小・中学校における性に関する指導の現状について	子どもたちの心と体を守るため、学校現場における性に関する指導の現状と課題、保護者との役割分担の認識、今後の方向性について、ご所見を伺う。

No.	5	上野 忠彦	【No.20 へ変更】
質 問 事 項			要 旨
1 自治会の活性化について			自治会は防災、防犯など地域の中核であり、地域住民が安全・安心に暮らすため重要な役割を担っている。その役割は、今後ますます重要になると考える。そこで、自治会活性化に向けての御所見を伺う。

No.	6	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1 空き家対策の「管理」から「利活用」への抜本的転換と、移住定住を核とした地域づくり戦略について		(1) 【残置物処分の支援】 空き家利活用の最大の障害である「残置物（家財道具）」の処分費用補助制度を、新たに創設する考えはありませんか？ (2) 【地域との関係構築支援】 移住者と地域共同体との関係構築を支援する「（仮称）地域コミュニティ・定住サポーター制度」を創設し、「田舎暮らしの心得」を作成する考えはありませんか？ (3) 【需要側へのアプローチ】 LINE 等を活用し、利用希望者の需要を把握する「逆空き家バンク機能」を、宅建業法への懸念を踏まえた上で、改めて導入する考えはありませんか？ (4) 【所有者への対応（県内）】 管理指導だけでなく「利活用」を促すための直接訪問を行っておられますか？また、現状の人員体制における全戸訪問の可否など、実態を伺います。 (5) 【所有者への対応（県外）】 「県外」所有者に対し、電話や文書送付以外の対応を行っておられますか？また、それに対する反応や効果の希薄さなど、現場の実態を伺います。 (6) 【専門官の配置】 NPO や福祉事業所等の多様な地域の担い手と連携し、市が主体的に関与する「（仮称）空き家利活用担当官」を配置する考えはありませんか？ (7) 【体制の分離】 「（仮称）農林水産部」等を新設し、利活用（攻め）を担う司令塔部署を設置、都市計画課は管理（守り）に特化させる組織再編を行う考えはありませんか？

No.	7	宮元 照美
質 問 事 項		要 旨
1 野島の活性化について		令和7年度において、地方創生へのチャレンジの一つとして野島活性化があげられ、地域おこし協力隊による魅力発信や基本構想の策定などに取り組むとされていた。 本議会において上程された次期総合計画においても、子供から高齢者まで多世代が交流できる元気な島づくりを目指す野島活性化プロジェクトが位置付けられているが、現在の状況について伺う。
2 太陽光発電施設の適切な管理について		(1) 防府市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例が令和7年4月に施行されたが、市内の太陽光発電設備の届出件数や相談件数について伺う。 (2) 適正に管理されていない施設の対応や老朽化したパネルの撤去について伺う。

No.	8	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1	認知症対策について	本市の高齢者の１０人に１人が認知症となっており認知症は身近な課題となっている。第６次総合計画（案）で高齢者支援に認知症施策の推進とあるが本市のご所見を伺う。認知症対策において「認知症カフェ」のPRについて伺う。「認知症カフェ」「認知症サポーター」この二つの連携や今後の取り組みについて伺う。また、難聴があると、認知症リスクが高まるといわれているが、補聴器が高額で購入できないと聞いている。購入について補助が必要ではないか伺う。
2	医療的ケアを必要とするこどもたちと家族への支援について	日常生活の中で医療的な支援を必要とする、医療的ケア児やその家族の方は様々な負担を抱えている。医療的ケア児とその家族への支援の取り組みについて本市のご所見を伺う。 （１）ご家族の負担軽減の支援について （２）災害時に備えた支援について （３）外出しやすい支援について
3	がん検診の受診率向上に向けた取組について	本市では特定健診やがん検診を「幸せますケンシン」という名前にして、市民へのPRと受診勧奨に努められ、がん予防、早期発見・早期治療の普及啓発に取り組んでいる。また、集団検診と個別検診から受診方法を選択できるが、がん検診受診率の十分な向上が見られていない。がん検診の受診率向上に向けさらなる取り組みについて、ご所見を伺う。 （１）がん検診受診率の向上、特に乳がん検診の受診率向上について （２）がん教育の現状と今後の取り組みについて

No.	9	生野 美輪
質 問 事 項		要 旨
1 公共トイレの整備について		明るく、清潔感があるトイレ環境の充実は住みやすい町の指標の一つとなる。しかしながら、本市の公園等の公共トイレは、男女の仕切りもないような古い形状の物も多く、洋式化や多目的トイレが整備されているところでも、老朽化による破損や暗さによる安全面の懸念などの課題がある。市民や来訪者が誰でも、安全・安心・快適に利用できるトイレ環境を実現するための、本市の今後の整備方針について伺う。 (1) 公園等のトイレ、特にインクルーシブ遊具がある公園のトイレの整備について (2) 公園の幼児用トイレの整備について
2 いざという時に備える 「私の生き方ノート」の普及と活用促進について		高齢の単身世帯や身寄りのない方々が、病気や事故など意思表示が困難となった場合に備えることは重要である。 本市では、いざという時に備えるため、「私の生き方ノート（エンディングノート）」を作成しているが、実際に記入し、活用することを促進するための取組についてご所見を伺う。

No.	10	藤本 真未
質 問 事 項		要 旨
1 小・中学校の給食について		(1) 本市では給食試食会時に実施している参加者アンケートの活用方法、これに基づくこれまでの具体的な改善・対応事例、ならびに今後、給食の質向上・献立改善・安全安心の強化にどのように活かしていくお考えか、本市の考えをお聞かせ下さい。 (2) 学校給食における異物混入事案に不安の声が寄せられています。異物混入が発生した場合の原因究明と再発防止策は、どのように行われているのかお聞かせ下さい。
2 不妊治療について		本市においても出生率・特殊出生率が低下を続けており、早急な対策が求められています。子どもを望む夫婦にとって経済的負担の大きい不妊治療に対する助成の拡充は、出生率向上に直結する極めて効果的な少子化対策の一つであると考えますが、本市の認識と今後の助成強化に向けた考えを伺う。

No.	1 1	森重 豊
質 問 事 項		要 旨
1 道路敷の管理について		道路の通行に際して、覆い茂る樹木や草などの管理状況や対応についてお伺いする。

No.	1 2	重田 直輝
質 問 事 項		要 旨
1 防府警察署の移転誘致について		(1) 移転の経緯と判断理由について 市民や市にとってのメリット・デメリットを含め、市として誘致するに至った経緯を伺う。 (2) 決定過程と周知の在り方について 何をもって移転決定したと整理しているか、また、具体的な立地場所を含む周知の実施状況について伺う。 (3) 市民からの具体的な要望・懸念に対する対応について 以下の要望、懸念、疑問に対する市としての受け止めと説明・対応方針について伺う。 【要望】移転予定地は市民が利用可能な利活用 【懸念】警察署隣接による心理的圧迫、交差点の渋滞 【疑問】誘致がなければ立体駐車場は不要では。 (4) 議会関与と民主的プロセスについて 本件は条例上、議決が必要ないが、議会と市民不在の状況の評価と今後の改善方針を伺う。 (5) 警察署跡地・総合庁舎跡地の利活用について 市として明確な方針や構想を持ち、県との協議をすべきではないか。

No.	13	松村 学	
質 問 事 項			要 旨
1 特定健康診査受診率向上について			心筋梗塞や脳梗塞は血管が痛むことにより起こる病気です。その発症は知らない間に少しずつ動脈硬化が進行した結果として起こり、高血圧や糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がないのが特徴です。そのため、特定健康診査を受診することは大変重要であり、どのように生活習慣病の改善を実践するのか指導することが特定保健指導です。また、肥満・高血圧・高血糖・脂質異常症という危険因子が3～4個保有する人は発症危険度が約36倍になると言われています。特定健康診査・特定保健指導は平成20年4月より、40才～75才未満の人に対し、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの予防改善を目指し始めました。しかし、本市を含め、全国的に受診率が低く、生活習慣病の有病者・予備軍が増えています。2024年4月策定の防府市国民健康保険第3期データヘルス計画兼第4期特定健康診査等実施計画によると2029年の特定健康診査の目標値は受診率が50%であり、特定保健指導実施率は20%に対して、2024年度は特定健康診査の受診率が35.6%、特定保健指導実施率が13.5%です。厚労省が示している目標値は特定健康診査受診率70%以上、特定保健指導実施率は45%以上と高い数値です。そこで本市の特定健康診査受診率と特定保健指導実施率の向上についての取組みについて伺います。

No.	14	原田 典子
質 問 事 項		要 旨
1	生活保護申請における本市の対応について	生活保護は国の制度であり、法定受託事務として、市町村は国の基準に従って実施するものとされる。 しかし、市民への寄り添い方や相談体制など運用の部分には自治体の姿勢が大きく表れる。したがって、本市の丁寧な対応が、市民の生存権を守るために求められている。本市の対応について伺う。 (1) 生活相談に来られた方に生活保護申請の権利について明確に伝えているか。 (2) 現在ケースワーカーの人数は福祉事務所の定数に足りているか。また、ケースワーカーひとりあたりの件数は何件であるか。 (3) ケースワーカーの対応を統一し、生活相談から申請につなげるための「マニュアル」は作成されているのか。
2	「個別避難計画」について	「個別避難計画」の作成にあたり、福祉と地域との連携が最も重要となる。現時点で本市における「個別避難計画」の進捗状況はどのようなになっているか伺う。 (1) 「個別避難計画」を作成する対象者数とそのうち避難計画作成が完了しているのは何割であるか。 (2) 「個別避難計画」を作成した方で、実際に避難訓練を実施した事例があるかを伺う。 (3) 「個別避難計画」を作成する際には、地域との連携が課題となるが、そのための本市の取り組みについて伺う。

No.	15	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	野良犬や野良猫対策について	心無い人間によって、依然として後を絶たない野良犬や野良猫による苦情が市民からも多く寄せられています。糞尿被害や感染症のリスク、無責任なエサやり。さらには、殺処分など、動物にも、人間にも不幸な結果を招いています。この状況に対して、市としてどのような対策を講じているのか。また、今後どのような対策を検討しているのか、お伺いします。
2	緊急通報装置の周知と普及について	高齢化が加速的に進展する中で、独居高齢者や高齢者のみの世帯では、予期できぬ急病や転倒など、突発的な事態に迅速に対応できる整備がますます重要となっています。その中で、緊急通報装置は、まさに命を守る「最後の砦」として、大きな役割を果たすものです。 しかしながら、現状では、緊急通報装置の存在そのものも知らない方が、驚くほど多くいらっしゃいます。市として、緊急通報装置の周知、また、普及においてどのような取り組みをされているのか、お尋ねします。

No.	16	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	漁業の振興について	(1) ニューフィッシャーへの支援について 漁業の振興には、漁業の担い手を確保・育成することが重要である。防府市におけるニューフィッシャーの就業状況と支援について伺う。 (2) 防府市の漁場再生に向けた取組について 防府市沿岸では、様々な要因により、海藻が減少するいわゆる磯焼けが進んでいる。防府市の漁場再生に向けた取組について伺う。
2	クマの出没と住民の安全確保について	東北地方、北海道でクマの出没が相次ぎ、毎日のように報道されている状況である。市民も不安に感じているところ、クマの目撃等に対する市の対応について伺う。 (1) クマの情報はどうのように確認をしているのかを伺う。 (2) 出没情報に対する関係機関との連携、また、どのように市民へ周知しているかを伺う。 (3) クマの目撃情報があった場合、登下校時にはどのような対応を教育委員会では行っているかを伺う。 (4) クマの出没を避けるための対策についてどのような周知を行っているかを伺う。

No.	17	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1 交通弱者等への移動支援について	(1) 交通弱者数の推移について	
	(2) 運転士不足や交通弱者・交通不便地域等の解消等について	
2 防災について	(3) 高齢者等へのタクシーと福祉タクシー運賃の助成について	
	(1) 防災士の活動について	
	(2) こども防災士や地域防災マネージャー・自主防災組織等の役割について	
	(3) 多様な組織等の連携について	

No.	18	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	災害対策について	(1) 防災対策を進める上で、行政、住民、自主防災組織、事業者等がどう対応していくのが、明確にされなければなりません。そのためには、防災基本条例を策定すべきではないか。 (2) 自主防災組織の現状はどうなっているのか。
2	国民健康保険料について	国民健康保険事業特別会計の令和6年度決算をみると、単年度では赤字ではあるが、基金残高は引き続き20億円を維持している。 令和8年度には、子ども・子育て支援金制度により、国民健康保険の保険料が、1人あたり月額250円程度の負担増と試算されている。 防府市の保険料は、他市と比べ均等割と平等割が高い。今後の保険料水準の統一化を考えた時、基金を活用し、他市と比べて高い均等割と平等割の保険料を引き下げ、新たな支援金制度による保険料引上げを緩和すべきではないか。
3	高齢者へのバス・タクシー運賃の助成について	今年度を実施した「元気いきいき！高齢者おでかけ支援事業」の事業実施状況は、どうなったのか。事業の実績、利用率、予算の活用状況、課題などについて伺いする。

No.	19	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1 防府ファンの更なる拡大の 取り組みについて		本市では、第5次総合計画の重点プロジェクトに「恵まれた資源を生かした交流拡大」を掲げ、観光、文化、スポーツの各分野において、様々な取り組みをされてきた。 こうした中、第6次総合計画（案）においても「防府ファンの創出・拡大」を掲げられており、防府ファンの更なる拡大に向けた取り組みについて、ご所見を伺う。